

みんなでグッジョブ運動推進の指針



平成23年4月
沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部

第1章 指針策定の目的	1
（1）指針策定の趣旨	1
（2）みんなでグッジョブ運動の方向性	2
第2章 みんなでグッジョブ運動とは	2
（1）みんなでグッジョブ運動の意味（定義）	2
（2）みんなでグッジョブ運動の最終目標	2
（3）みんなでグッジョブ運動の基本コンセプト	3
第3章 みんなでグッジョブ運動の推進体制の確立	3
（1）沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部	3
（2）推進本部以外の運営体や会議との連携	3
（3）市町村や地域コミュニティー等との連携	3
第4章 各主体の役割	4
（1）企業	4
（2）学校・教育機関	5
（3）家庭・地域社会	6
（4）県民（個々人）	6
（5）マスメディア	7
（6）行政機関	7
（7）各種団体	9
（8）各主体共通	9
第5章 年度ごとの実施計画の策定	9

第1章 指針策定の目的

(1) 指針策定の趣旨

沖縄県においては、本土復帰以降、3次にわたる沖縄振興開発計画及び沖縄振興計画に基づき、各種施策が総合的に講じられたことにより、社会基盤等については、本土との格差が次第に縮小するなど、沖縄県の経済社会は着実に進展してきている。

一方、産業面においては、観光リゾート産業の伸びや情報通信関連産業の集積など一定の成果は上がっているものの、雇用情勢は完全失業率が高止まりで推移し、若年者を中心に依然として厳しい状況が続いている。

このような中、沖縄県では、雇用情勢を改善し完全失業率を全国並みにするため、平成19年度から「みんなでグッジョブ運動」を展開して、産業の振興等による雇用の創出・維持、職業訓練やフォーラムをとおしてのミスマッチの解消、産学官が連携したキャリア教育の推進、特に若年者を中心とした県民の就業意識の向上を図る広報啓発等の事業に取り組んできた。

その結果、沖縄県の就業者数は、平成18年比較で平成22年は2万5千人増加するなど一定の成果は残したものの、就業者数を上回る労働力人口の増加や世界不況の影響等で、完全失業率は、7.5%前後で推移し、目標とした全国並みの改善に至っていない。

このため、4年間取り組んできたみんなでグッジョブ運動の検証結果を踏まえ、改めて「みんなでグッジョブ運動」における企業、学校・教育機関、家庭・地域社会、マスメディア、行政機関等各主体のそれぞれの役割及び相互に連携・協力しながら取り組む基本的な事項をここに指針として定め、沖縄県の雇用情勢の改善に向け県民一体となって取り組んでいくこととする。

なお、この指針は、みんなでグッジョブ運動を継続して取り組んでいく中で、必要に応じて適宜見直しを行うこととする。

(2) みんなでグッジョブ運動の方向性

沖縄県の雇用の課題としては、県内の雇用の場の不足、求人が多い業種と求職が多い業種の不一致や企業が求める技術・技能の不一致及び労働条件の不一致などのミスマッチ、若年者等の就業意識の低さ等が考えられる。

これら課題を解決するためには、本県の戦略的産業やオキナワ型産業等をはじめとする諸産業の振興と企業誘致並びに職場環境の改善等による雇用の創出・維持、ミスマッチの現状分析による効果的なミスマッチ対策の推進、産学官等が連携した人材育成の推進、若年者の就業意識を高めるためのキャリア教育の充実や就職活動支援等の必要がある。みんなでグッジョブ運動がこれまで以上に多くの県民や企業が参加できる県民運動としていくなど、諸施策を展開していく。

第2章 みんなでグッジョブ運動とは

(1) みんなでグッジョブ運動の意味(定義)

「みんなでグッジョブ運動」とは、県民一人ひとりが「働くこと」について真摯に向き合い、働くことの意義や大切さを常に考え、子どもたちに伝えていく。そして、県民みんなが働くことに生きがいを感じられるような「働く夢」を広げていく。このように県民が丸となって就業意識の向上を目指し取り組む県民運動のことである。

(2) みんなでグッジョブ運動の最終目標

みんなでグッジョブ運動の大きな最終目標は、県民一人ひとりがそれぞれの立場で、それぞれにできることを行うことにより、沖縄県の雇用の課題である「雇用の場の不足」、「求人と求職のミスマッチ」、「若年者の就業意識の低さ」を解決し、沖縄県の雇用情勢

を全国並みに改善することである。

(3) みんなでグッジョブ運動の基本コンセプト

みんなでグッジョブ運動の基本コンセプトは「みんなが生きがいを持って働く、自立した豊かな社会（沖縄県）の実現」である。

第3章 みんなでグッジョブ運動推進体制の確立

みんなでグッジョブ運動を推進するために、以下の体制の整備を図るものとする。

(1) 沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部

県民運動を強化・拡充していくため、沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部（以下「推進本部」という。）会議及び推進本部幹事会における意見交換や情報交換と併せて、課題解決に向けた具体的取り組みを一層強化するために、必要に応じて個別課題を解決する部会等を設置する。

(2) 推進本部以外の運営体や会議との連携

みんなでグッジョブ運動の趣旨を理解し広く県民に取り組みを浸透させていくため、県部局で構成するみんなでグッジョブ運動部局連携会議並びに推進本部以外の団体や団体が組織する会議等と有機的な連携の構築を図る。

(3) 市町村や地域コミュニティー等との連携

県民参加型の運動となるよう草の根的にみんなでグッジョブ運動を展開していくために、市町村や地域コミュニティーにおいて、産学官・地域・家庭・NPO等、あらゆる主体が連携し、これら主体が協働で共通の課題を解決するための仕組みの構築を図る。

第4章 各主体の役割

各主体は、次に掲げる取り組み事項を基本に、それぞれの立場で、自主的（主体的）に取り組むこととする。

また、各主体はそれぞれの役割のもとで、第5章で推進本部が定める実施計画の実行に努める。

（1）企業

インターンシップや職場体験などの受入

それぞれの企業の持つノウハウを活用し、地域を支える人材の育成のために積極的にインターンシップ、職場体験やジョブシャドウイング等を受け入れることにより、企業責任としてのキャリア教育への参画、職場内の活性化、社会貢献の促進に努める。

中長期的視点に立った人材育成の充実

人材は企業の経営品質を向上させる要であり、新入社員教育、階層別研修、目的別研修など、社員の能力・キャリアアップの促進に向け、中長期的な視点に立った人材育成の制度充実に努める。

また、社員の自発性・積極性を引き出すため、自己啓発活動への支援に努める。

起業への積極的なチャレンジと支援

新事業の創出、人材育成の観点から、リスクに果敢に挑戦する旺盛なベンチャースピリットを持つ企業内人材、起業家を育成するとともに、事業成長の加速が見込まれるベンチャー企業に対して、資金・経営ノウハウ等の提供を積極的に行うよう努める。

企業成長に向けた果敢な取り組みと積極的な雇用の場の創出

消費者ニーズに合った新商品の開発や県外・国外の市場開拓な

ど、新たな事業活動（経営革新）を積極的に展開することにより経営の向上を図るとともに、県外企業も含めたビジネス連携などの取り組みにより雇用の場の創出に努める。

働きやすい職場環境の整備

雇用の安定や優れた人材の確保には働きやすい職場環境づくりが重要であり、年間労働時間短縮や育児・介護への支援制度の充実等、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）に配慮した柔軟な働き方のできる職場環境の整備に努める。

パート、アルバイト、契約社員等の正規社員化と均衡処遇に向けた取り組み

労働者がそれぞれの個性を生かし、その持てる能力を十分に発揮するとともに、公正な処遇を確保し安心して働くことのできるよう、正規雇用への移行や正規・非正規の均衡処遇に努める。

若年者等の雇用

雇用支援制度等の活用により、若年者や女性、高齢者、障害者等の雇用の促進に努める。

企業・学校・家庭・地域社会の連携による取組

企業と学校・家庭・地域社会との連携・協働による雇用拡大等のための取組を推進するとともに、企業の役割と責任を踏まえ、誰もが安心して働くことのできる環境の整備に努める。

（２）学校・教育機関

就業意識を高めるための取り組み

学校教育から職業生活への円滑な移行を図るため、企業並びに家庭や地域社会と連携し、集団生活に必要な規範意識やマナー、人間関係を築く力、コミュニケーション能力など社会への適応にかかる

幅広い能力の形成を重視したキャリア教育を発達段階に応じて実施するよう努める。

職業相談体制の充実

県内外の雇用状況の把握、企業情報の収集に取り組むとともに、その情報を提供しやすい体制づくりに努める。

就職に向けた企業との連携強化

求人企業の開拓に努めるとともに、企業と連携した県内外インターンシップ、企業人講話等を積極的に実施するとともに、産業界のニーズを反映したカリキュラムの見直し、学科再編等に努める。

(3) 家庭・地域社会

家庭における就業意識の醸成

子供達が将来に夢と希望を持ち、時代の変化に力強くかつ柔軟に対応できる自立した社会人・職業人になれるよう、家庭において常に働くことを話題にして就業意識の向上に努める。

また、県内だけでなく県外や海外も視野に入れた就職の意識啓発を図るとともに、学校と連携して雇用状況や企業の求人情報等の把握に努める。

地域における取り組み

地域の行事やボランティア活動等地域コミュニティへの積極的な参加をとおして、子供の頃から社会性やコミュニケーション能力を身に付け、社会に出るための自信と力をつけさせるよう努める。

(4) 県民(個々人)

就業に対する意欲の向上

県民一人ひとりが自立心と「働く」ことに対する高い意欲を持ち、就業中の者は前向きに仕事に取り組み、求職中の者は積極的に就職活動を行い早期就職を目指す。

県外及び海外就職への積極的なチャレンジ

県内だけでなく広く県外や海外も視野に入れ、県外等インターンシップの活用も図りながら、多種多様な仕事のある県外・海外の就職にも積極的にチャレンジする。

起業への積極的なチャレンジ

企業へ就職することにこだわることなく、自らが仕事を創り出していく気持ちで、行政等が提供する様々な制度等を活用しながら起業へも果敢に挑戦する。

(5) マスメディア

産業・雇用拡大に関する情報の積極的な報道

本県の産業・雇用に関する現状や課題、県民運動推進に向けた各主体の模範的な取り組みなどを様々な角度から掘り下げて報じ、県民運動に関する県民の関心の喚起と理解に努める。

(6) 行政機関

県民の参画と協働のもと、2010年3月に策定した「沖縄21世紀ビジョン」の実現を目指し、沖縄振興のための新たな計画を踏まえながら、沖縄県の産業振興と雇用問題解決のため、国・県・市町村が各々の役割を果たすとともに、連携して次の取り組みを展開する。

雇用の創出・維持

本県の地域特性を活用した情報通信産業及び製造業等地域産業の振興、産業の戦略的展開による新規事業の創出や企業の立地促進とともに、企業経営の高度化やすべての産業や職種の人材の育成などの諸施策を推進し、雇用の創出・維持を図る。

ミスマッチの解消

ミスマッチの要因としては、求人が多い業種と求職が多い業種の不一致、企業が求める技術・技能の不一致、労働条件及び雇用形態の不一致、地域間の不一致等が考えられる。

そのため、雇用創出に向けた産業振興や企業誘致政策を推進するとともに、企業の人材ニーズに対応した人材育成や職業訓練を実施することなどにより双方のマッチングを高める。

また、重点産業分野における求人と求職の相互理解を図るためのフォーラム等を通して早期離職の防止や求職者の支援を行う。

若年者の就業意識の向上と就業支援

若年者の雇用状況の改善を図るため、産学官及び地域と連携して、キャリア教育の充実など新規学卒者及び若年者に対する就業意識向上の取り組みや就業支援策を講じる。

企業・学校・家庭・地域社会での取り組み支援

企業、各機関が行う産業振興、雇用の拡大等に関する取り組みに対して支援を行う。特に、地域の主体的・独創的な雇用創出の取り組みを支援する。

また、企業、学校、家庭、地域社会と連携し、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。

女性、高齢者、障害者等への支援

雇用支援制度等の周知・活用を促進し、女性の再就職や高齢者、障害者に対する雇用支援を強化する。

意欲のあるすべての人々が働くチャンスを得られる社会の実現

年齢や性別、ライフステージ等に関わりなく、働く意欲のある者が、働くチャンスを得ることができ、かつ、公正な処遇が確保され、誰もが安心して働くことができる環境の整備に努める。

(7) 各種団体

推進本部の構成員の役割

傘下団体及び企業に対して、推進本部で定める年度ごとの実施計画の実行を促進するとともに、みんなでグッジョブ運動の広報・啓発を行い県民運動として推進に努める。

その他、各種団体等の役割

推進本部の構成員の役割に準じて県民運動の推進に努める。

(8) 各主体共通

積極的な県産品の愛用

県民一人ひとりが県産品を愛用することで、県産品の需要が高まり、県内の地場産業の振興が図られ、雇用の場の創出につながる。みんなでグッジョブ運動の基本コンセプト「みんなが生きがいを持って働く、自立した豊かな社会（沖縄県）」の実現をめざし、県民みんなで積極的に県産品の愛用に努めましょう。

みんなでグッジョブ運動への積極的参加

県民一人ひとりが「働く」ことに真摯に向き合い、取り組むことを宣言した「みんなでグッジョブ運動県民宣言」の普及啓発に努めるとともに、様々なシーンで合言葉は「みんなでグッジョブ！！」を実践することにより、みんなでグッジョブ運動への積極的な参加に努めましょう。

第5章 年度ごとの実施計画の策定

推進本部は、みんなでグッジョブ運動を県民運動として推進するため、推進本部をはじめ県民が一体となって取り組む具体的な事業を年度ごとに定め実行していくこととする。

みんなでグッジョブ運動県民宣言

美しい空や海、優しさあふれる文化など、たくさんの宝を持つ沖縄は、全国から「宝の島」として注目されています。

中でも一番大切な宝、それはウチナーンチュそのものです。

そのウチナーンチュが持っている、素晴らしい能力や可能性を磨き上げるためには、生きがいを感じられる「働く場」が、もっともっと必要です。

私たち一人一人が、広く県外へも目を向け、強い自立の気概を持つとともに、それぞれの役割を理解しながら、みんなで働くことの喜びを分かち合い、大きく世界に羽ばたいていく……。

その先に待つのは、将来の沖縄の子どもたちが、生き生きとした夢と誇りを持つことができる、豊かで自立した沖縄なのではないでしょうか。

そんな熱い気持ちを込めて、「みんなでグッジョブ！」を合い言葉に、私たちは、力をこめて宣言します。

- 1．私たちは、自立心と「働く」ことに対する高い意欲を持ち、広く県外や世界にも目を向け、積極的にチャレンジします。
- 2．私たちは、お互いの立場に立って理解を深め、誰もが公正に扱われ、安心して働ける職場づくりに努めます。
- 3．私たちは、子どもたちが将来に夢と希望を持って、自立した社会人になることを学べる機会を増やします。
- 4．私たちは、郷土の産業を大きく成長させ、安定した働く場を作るため、みんなの知恵を結集して果敢に取り組みます。
- 5．私たちは、力を合わせて、「みんなが生きがいを持って働く自立した豊かな社会」を実現します。

平成19年5月24日

沖縄県産業・雇用拡大県民運動推進本部